

# MUTSUZAWA JOURNAL

vol.1

2018

# MUTSUZAWA KEI-TRA STATION

TAKE FREE

点検してもらえる?

いつも頑張ってくれてるもんねえ~



## アイラブ軽トラ

～みんなの相棒～



「なくてはならないものなんだよ」  
合言葉のようにみんなが言う。  
程よく広がる田園風景の中、  
文句も言わず与えられた仕事を黙々とこなす。  
派手さもファッショニ性もないんだけど、  
その健気な仕事っぷりと真面目さは、ある意味カッコいい。  
小さな体なのに力強くって、何より男前！  
まさに“いいやつ”なんだよ。「軽トラ」って。  
だから頼れる「みんなの相棒」なんだろうなあ。





# 我が人生、エンジンと共に

睦沢町在住 宮崎秋徳

秋徳さんは、生粋のエンジンマニアだ。自動車の修理工から始まり、重機の開発に携わった経験もある。今は天然ガスを採掘する会社で、必要な機材の製作を請け負っている。重々しい機械と無骨な部品が並ぶ「倉庫の番人」だと言う。

まさにエンジンに纏わる仕事一筋の人生だ。「長生郡市石油発動機愛好会」。古い発動機を修理し蘇らす。復活した時は「ほらみろ!」と豪語する。その醍醐味は、発動機を作った当時の製作者に挑み、打ち勝つたという自負もあるんだろう。「壊れたものは直す。人間が組んだものなんだから、人間が直せないはずがない」そのキヤツチフレーズは、秋徳さんの信念そのものだ。

「長生郡市石油発動機愛好会」の晴れ舞台は、秋の商工まつりと観光まつりの年2回のイベントだ。メンバーが手がけた発動機を持ち寄り、一齊に動かす。爆音と煙が立ち込め、何だ何だと人が集まる。その光景は、昔懐かしいSLの復活と似たものがあるんだろう。

秋徳さんが手がけた発動機は幾台もある。その中で、「東京市」のエンブレムが付いた、大正から昭和にかけて活躍したであろう発動機が、一番の自慢で、一番の宝物なんだと話す。

当然、車もバイクも大好きだ。今も数台の車とバイクを所有している。自家の納屋がガレージがわりで、所狭しと車とバイクと発動機が共存している。秋徳さんの歴史は、いつも愛車と共にいる。ポケットから出されたヨレヨレの小さなフォトブック。若かりし頃の愛車との記念写真が綴られている。そしてそれぞれの愛車とのエピソードを懐かしそうに語ってくれる。

軽トラとの出会いは、父から譲り受けた「HONDA TN360」。そして現在、日常の足として欠かさず乗っているのも80年代の軽トラだ。「この地では、軽トラは欠かせない道具。当然4WDでないとダメだけどね(笑)」と。

懐かしい思い出話と武勇伝。その話の中に「形見」という言葉が時折出てくる。ただ車が好きと言っただけでなく、家族との絆にも車が関係している。晴れた日にしか乗らない88年製のフェアレディZ。それは兄が大切にしていた車。整備を施し、今でも快調にZらしい走りをしてくれる。

兄の車庫には、Zに並んで古い軽トラもあるそうだ。もう何十年も止まつたまままで、ゴミが山のように積まれてあるらしい。その軽トラもまた、兄が父から譲り受けた形見の軽トラだ。親兄弟、三代目は秋徳さんが受け継ぐ。「昭和40年代の軽トラで、排気量も360cc。こいつをいつか復活させたいんだよな」と秋徳さんは言う。

その言葉には、ゴミに埋もれた軽トラをただ復活させたいというだけではなく、エンジンマニアとしての魂、形見にもう一度目の目をという、謂わば運命的な使命というか、宿命のようなものを感じているようと思える。父が乗り、兄が受け継いだ軽トラ。それは紛れもなく、家族が歩んだ軌跡の証でもあるんだろう。



年の瀬も押し迫った29日。秋徳さんのガレージである納屋にお邪魔した。当然マニアックな納屋であることは想像していたが、納屋を見るなり、圧倒された。お世辞にも片付いた納屋とは言えない。何のバーツだかわからないものが散乱し、無造作に並べられたバイクたちを、避けながらないと歩けない。「断捨離だけ? 片付けようと思つても全部必要なものなんだよ」と苦笑い。



納屋は大きく3つのカテゴリーに別れている。手前は発動機の部屋。真ん中はバイクの車庫。一番奥は修理の間となっている。修理の間では、セルシオが大きな口を開けて止まっている。軒下にはびくともしない重量級の発動機が並び、その中に自慢の「東京市」の発動機もドーンと構えている。納屋の奥には、小ぶりな発動機がずらりと並ぶ。その季節の入った発動機たちが、小窓から差し込む冬の朝日を浴びて黒く輝く。その様は美に絵になる。漂うオイルの匂いも演出となる。

HONDA CB750, YAMAHA HS1, リトルホンダ。エンブレムが色褪せたBMW SR1000。ロードバルにモンキー。様々なジャンルの様々な年代のバイクが静かに併む。

収まりきらないバイクが、発動機の部屋を占領している。別棟の倉庫にも、数台眠っているんだから、その数たるや、すごいの一言に尽きる。外では、古く錆びたトラクターと並んだ「HONDA NS250R」。このミスマッチな光景も、何だか微笑ましい。しかし、ゴミに埋もれた形見の軽トラはどこにもなかつた。父から兄、兄から秋徳さんへ渡つた、その軽トラはこの「秘密基地」にはないんだ。あの話しを聞いてから、ずっと想像していた。今日、お目見えてみると確かに思つていただけに、ないとなれば余計に想像が膨らむ。

むしろこの形見の軽トラに、踏み入つてはいけないような気さえしてきた。口にはしないが、大切な聖域なのではないかと思えてきた。

このごちゃやごちゃや加減が安心するんだろうし、それが秋徳さんらしいと思えてならない。まさに「おもちゃ箱」。秋徳さん以外、誰もここには踏み入らない、謂わば秋徳さんの「秘密基地」なんだろうと思う。



この形見の軽トラ復活劇は、次号で紹介しよう。  
今年も商工まつりで、発動機たちが蘇る。その発動機たちと並んで、この形見の軽トラも息を吹き返しているんだろうか。ひょっとして、発動機を荷台に乗せて走っているかもしれない。  
産業まつりは、毎年11月3日。今から楽しみで仕方がない。  
実は11月3日は、秋徳さんの誕生日もある。発動機の爆音と煙をバックに、ハッピーバースデイを歌つてあげようと思う。

取材・写真 なみわい 西田雅人

この状態だ。廃車証明書も紛失している。どこから手をつけていいのやら……まずは笑うしかない。

形見の軽トラ。どうなるか見当もつかないが、秋徳さんの頭の中では、すでに走っている映像を、思い描いているんだろう。

こうして復活劇が幕明けした。

古ぼけたシャツターが開いた。話し通り、てんこ盛りのゴミに埋もれた形見の軽トラが、静かにそこにあつた。車種はSUZUKI-CARRY。多分、昭和47～51年製。ゴミで積載量オーバーが原因ではないだろうが、経年劣化でタイヤはべつたんこ。サビは当然だし、ガラスも天然スマート状態。ドアには手書きで「自家用」。でもちゃんと荷台の下から、2気筒エンジンの寝顔が覗く。

この軽トラを見て欲しいと話しかけられた。すると、兄の車庫に止めたまま、ゴミに埋もれているし、到底見せられる状態ではないと言う。それでもいいから、見たいとお願いした。「じゃ、今から行くか！」以外にあつさりご対面の時が来た。

ガラガラガラ……

年が明けると、いよいよ形見の軽トラを復活させるぞと連絡があった。これ以上、想像と妄想だけではいられず、形見の軽トラを見せて欲しいと話を切り出した。すると、兄の車庫に止めたまま、ゴミに埋もれているし、到底見せられる状態ではないと言う。それでもいいから、見たいとお願いした。「じゃ、今から行くか！」



満開の桜の中、うめ丸くんが歌うのは「むつざわ音頭」。昭和58年、町制施行記念にレコーディング！歌うは、なんと！あの大物歌手！？  
... 次号に向け、調査中...。

## 軽トラ 安心安全コミュニティー

●野菜編●

～有機野菜「アウルファーム」オーナー喜多さんの名言集～

お客様家の冷蔵庫の野菜室を埋めてあげる  
こんちくしょーと思っても、ハチくさい肥料だと  
やり直しに1年かかる。

肥料の“質”が  
味に出る。

Good Morning...

ドレッシング  
いらす

美味しい。

安全。

環境を作ってやる。  
でも天候が邪魔をする。

ハセ釣りも軽トラでGO！

ハチくさい味になる

虫は当たり前。天気に苦労する。

なんと、年間80品目！土と肥料にこだわった、多品目少  
だわりは一目瞭然。四季の野菜を個人宅やレストラン

INFO アウルファーム ☎ 0475-36-2106 ☎ 090-7426-9854 ➤ http://www2s.biglobe.ne.jp/~owl ✉ michio-kita@mqb.biglobe.ne.jp

## 軽トラ 安心安全コミュニティー

●整備編●

暮らしに、仕事に、日常のあらゆる場面で、  
何かと活躍してくれる軽トラ。それ故に、  
メンテナンスはちゃんとおきたい。むつざわのド真ん中に位置する「睦沢マイカー  
センター」は、修理に、車検に、新車中古  
車販売まで。軽トラのことなら、何でもご  
ざれ！！軽トラヘビーユーザーも、これから入門のビギナーにも、力強～い味方になっ  
てくれること、間違いない！

何でもご相談ください！

INFO 睦沢マイカーセンター  
長生郡睦沢町上之郷 2615 ☎ 0475-44-1480

睦沢マイカーセンター内には  
「うめくん」ショップもあるよ。

GO! GO! MUTSUZAWA

# むつざわ軽トラ百景

むつざわの暮らしに、軽トラは欠かせない。

むつざわの日常に、軽トラは当たり前。

むつざわを見渡せば、軽トラが側にある。

むつざわの人たちと軽トラの様々な関係。

さあ、徳とご覧あれ！

軽トラは  
いいよ～

GO! GO! MUTSUZAWA

GO! GO! MUTSUZAWA

GO! GO! MUTSUZAWA



01 | MUTSU-KEI

## DAIHATSU HIJET 2010

ダイハツ ハイゼット 2010年製

愛用歴：3年（中古車購入）

走行距離：198,000 km

owner

高橋逸則（52）

出身：陸沢町

職業：農業／林業

## DAIHATSU HIJET 2004

ダイハツ ハイゼット 2004年製

愛用歴：14年

走行距離：168,000 km



「デコトラ魂」は「愛車魂」

菅原文太主演映画『トラック野郎』シリーズで、社会現象にもなった「デコトラ」。聞くとその昔、ネオン輝く2トンの「デコトラ」に乗っていたとのこと。今は2台の軽トラ。一見普通の軽トラに見えるが...細部と内装のこだわりには「デコトラ魂」が垣間見える。「撮影だから洗車しといたよ」。でも納屋に停まるトラクターなど、どれも手入れがゆき届いている。「デコトラ魂」の裏には「愛車魂」もちゃんと宿る。むつざわの「デコトラ」は～～今日もゆく～～♪

タコメーターだよ～



GO! GO! MUTSUZAWA

GO! GO! MUTSUZAWA

GO! GO! MUTSUZAWA

GO! GO! MUTSUZAWA

02 | MUTSU-KEI



## SUZUKI CARRY 2012

スズキ キャリー 2012年製

愛用歴：父からレンタル

走行距離：-

owner

Case / Noriko

出身：アメリカ／陸沢町

職業：英会話教室



空港のトラック？ゴルフ場のカート？

アメリカ出身のケースさん。はじめて軽トラを見た時、そのスマールさにビックリ！！でも今では、このスマールピックアップ（？）が超～便利だと。荷台にすっぽりダブルベッドが入った時には、超～感激したらしい。ハワイから、妻ノリコさん出身のむつざわに来て1年。旅好きで底抜けに明るいふたりが営む英会話教室は、遠方からも生徒さんが集まるのも納得。ケースさんがむつざわに馴れるか心配だったけど、この笑顔！今やどっぷり！むつざわ、超～満喫！

03 | MUTSU-KEI



## SUZUKI CARRY 2013

スズキ キャリー 2013年製

愛用歴：5年  
走行距離：27,000 km



owner  
**高貢房太郎（80）**  
出身：睦沢町  
職業：農業

欲出しちゃいけねえよ。目標は1日1000円。  
文房具店員から、40トンダンプの運転手まで。缶コーヒー片手に語る人生経験豊富な話は面白い。軽トラも13台目。丹精込めて作った季節の野菜を毎朝「つどいの郷むつざわ」に納めるのが日課。1日1000円が売上目標。趣味の古木集めも、床の間に飾れるくらいにまで手をかけ磨き上げる。これも「つどいの郷むつざわ」で販売。「今まで100本くらい売ったよ。最高は1本19万円」。謙虚な売上目標とは裏腹に、軽トラと40トンダンプほどの金額差に驚いた...。

GO! GO! MUTSUZAWA

GO! GO! MUTSUZAWA

## TEAM "DAIHATSU HIJET"

チーム "ダイハツ ハイジェット"

愛用歴：いろいろ  
走行距離：いろいろ

owner

~房総半島に広がる個性豊かな54ホール~  
**BOSO 房総カントリークラブ**  
Boso Country Club 房総ゴルフ場(BOSH)・大上ゴルフ場(DOSH)

出身：睦沢町  
職業：ゴルフ場整備

見よ、このタイヤこそが...

ゴルフ場と言えば、広大なコースを覆う手入れの行き届いた芝ではないだろうか。その様々な手入れの一役を担っているのが軽トラ。カスタマイズは勿論、芝を傷つけないよう開発された、このタイヤこそが「芝愛」の極みではないだろうか。そして何本ものコースを相手にする訳だ。到底一台や二台じゃ賄えないのは想像できる。荷台に刻まれた背番号から想像するに、相当数の軽トラが従事しているのだろう。謂わば「チーム軽トラ」と言っても過言じゃない。



GO! GO! MUTSUZAWA

GO! GO! MUTSUZAWA



GO! GO! MUTSUZAWA

GO! GO! MUTSUZAWA

## SUBARU SAMBER 4WD (購入予定)

スバル サンバー 4WD

愛用歴：これから  
走行距離：—



owner  
**犬飼ファミリー**  
出身：八千代市  
職業：エンジニア

一年間、千葉中を探してここむつざわに。

ハーフビルトで自宅建築中の犬飼さんは、大手自動車メーカーの技術者として培った経験を生かし、「クラシックカーのレストアがしたいんです」と。「千葉中を探して、たどり着いたむつざわ。自宅前は一面の田んぼ。裏の竹やぶを抜ければ小川が流れている。この環境！即決でしたよ」。自宅の次は工場に着手。大好きなワーゲンが並び、裏の小川で子供が遊ぶ。これから的生活には、軽トラは必須とのこと。「もう、スバルサンバー 4WD って決めてるんですよ」。

## HONDA ACTY SDX 1992

ホンダ アクティ SDX 1992年製

愛用歴：8年（中古車購入）  
走行距離：35,000 km



owner  
**市原 武（63）**  
出身：睦沢町  
職業：睦沢町長



「軽トラ」には親しみがある

「会合で愛車の話になったんですよ。『私の車は2シーターでね～』『私も2シーターなんですよ』と。普通かっこいいスポーツカーかと思うじゃないですか。それは合言葉のようなもので、お互い軽トラを意味してるんですよ」。軽トラには親しみがある。土のついた筈だって、そのまま荷台にひょいと乗せる。気取らない、なくてはならない道具。そう語るのは睦沢町長。今愛車は3台目。ダンディーなスース姿で颯爽と庁舎に乗り付ける愛車は、紛れもなく軽トラ。



町長室でインタビュー

## うめ丸応援団

ね~。うめ丸くんって知ってる?  
知ってるよ~。だって私は応援団だもん。

うめ丸くんをヨロシク

特産品のカリカリ梅をモチーフに誕生した、睦沢町マスコットキャラクター「うめ丸くん」。永遠の5才児で、その愛らしい仕草がたまらない。町内外のイベントでは、子供達にとって戦隊モノとはひと味違った、ヒーロー的存在らしい。また様々なグッズ販売や、なんとラインのスタンプにまで登場して、日夜?むつざわPRに奔走している。とはいっても、そこは永遠の5才児。まだまだ子育て感覚で手がかかる。そこで立ち上がったのが「うめ丸応援団」。おぼつかない「うめ丸くん」の手を引き、イベントなどでのお世話役。そんな「うめ丸くん」と応援団との関係は、まさに家族同然。時には優しく、時には厳しく。イベントで、買って買って~と駄々をこねる子供のように、なぜだかビール欲しがる「うめ丸くん」。それをなだめる姿は、まさに親と子。そんなやりとりもまた微笑ましく、イベントの名物にもなっている。

現在「うめ丸応援団」は10名。磯野家よりも3人多い大家族。今日は2人のお姉さんにインタビュー。明るく、樂しいうめ丸一家、いやいや「うめ丸応援団」でした!

うめ丸応援団のお問合せ: 090-8687-6230 (ハロー花 むつざわ)  
うめ丸グッズアンテナショップ: 睦沢マイカーセンター内コーナー設置

町長室を出るのも一苦労。  
お姉さんの手助けが必要。

頭がつかえちゃうよ~  
ほら、お腹も引っ込めて~  
ワ~イ

# MADE IN MUTSUZAWA 1.2.3.

むつざわの旨いもの、素敵なもの、誇れるもの。たくさんある。むつざわのいいものは、むつざわに精通した人に聞くのが一番! むつざわマイスターが選ぶ、むつざわメイドのベスト3を!



「つどいの郷むつざわ」平賀店長

今や「その地を知るなら道の駅へゆけ!」と言っても過言ではない。むつざわを知り尽くした店長の目利きはハンパない!



## 1. 縁台

布団が干せて、お茶が飲める縁台! そんな要望からオーダーメイドの縁台がはじまったよ~「ときわごや」 0475-44-2299



## 2. 穴

諏訪神社の社殿裏に、不思議な穴があるの。穴の向こうは竹林が広がっていて、とっても神秘的!



## 3. 野菜の苗

専門の施設園芸農家さんが作った「苗」は一味違うのよ!! プロフェッショナルな技術が、この小さなポットの中に宿っているんだわ。



## MUTSUZAWA TRIP GUIDE + 編集後記



は、「軽トラのある暮らし」に注目して、むつざわを紹介しました。と言うか、「軽トラ」を取り上げたのが正直なところ。コレ~という、何かある町ではないんですね。が、それ故に、掘れば掘るほど心搖さざる魅力が出てくるんですよ。今日はも学芸員の方から、昼飯も食わずに、むつざわの寺社仏閣についてレクチャーを受けました。腹はペコペコですが、頭は満腹です。GWは田植えのイベントに参加します。夏の盆踊りが今から楽しみです。少しへそ曲がりな新聞ですが、素直なむつざわの魅力を発信していくと思います。

MUTSUZAWA JOURNAL 創刊号

### ドライブ派

東京方面から→千葉道路または高速湾岸線→千葉東金道路→千葉外房有料道路→茂原→南総広域農道→睦沢町  
神奈川方面から→東京湾アクアライン→圏央道→茂原長南IC→国道409号線→長南→睦沢町

### 電車派

\* 東京駅から特急「わかしお」で、「茂原駅」は約50分。「上総一ノ宮駅」は約1時間。  
JR外房線「上総一ノ宮駅」下車→大多喜行き(小湊鐵道バス)

### サイクリング派

JR外房線「上総一ノ宮駅」とのコラボ!? 現在計画中...

### むつざわ情報

睦沢町公式ウェブサイト <http://www.town.mutsuzawa.chiba.jp>  
魅力発信★ウェブマガジン  
「むつざわに来てね」 <http://www.mutsuzawanikitene.com>

GO!BO!SO!

MUTSUZAWA JOURNAL Vol.1

発行日: 2018年5月31日

発行元: GO!BO!SO! +5035937301

無断転載禁止

THE FUN MUTSUZAWA PROJECT